

平成 18 年 6 月 7 日

各 位

本店所在地 堺市堺区戎島町 4 丁 45 番地の 1
会社名 株式会社 ユークス
(コード番号 4334 ヘラクレス)
代表者名 代表取締役社長 谷口行規
問合せ先 常務取締役 品治康隆
電話番号 072(224)5155(代表)

子会社（新日本プロレスリング株式会社）の アントニオ猪木氏の肖像権等使用許諾契約締結に関するお知らせ

当社連結子会社である新日本プロレスリング株式会社（以下、新日本プロレス）は、株式会社ジー・テイスト（JASDAQ・コード番号 2694）（仙台市若林区：以下、ジー・テイスト）と“アントニオ猪木”こと猪木寛至氏の肖像権等使用許諾契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 契約締結の背景

新日本プロレスは、アントニオ猪木をはじめとする数々のスター選手を創出し、歴史に残る名試合・名場面をくり広げてきた日本を代表するプロレス団体です。

一方、ジー・テイストは、郊外型居酒屋「とりあえず吾平」を直営17店舗、FC63店舗、計80店舗、その他外食店舗を直営・FC含め124店舗を展開する外食ビジネスを展開しております。

本年5月12日にジー・テイストの持株親会社である株式会社ジー・コミュニケーション（名古屋市北区：以下、ジー・コミュニケーション）が新日本プロレスとの間で、ジー・コミュニケーションの経営ノウハウおよびアントニオ猪木ブランドを活かした飲食店舗の展開第1店舗目（沖縄県那覇市に出店予定）において、新日本プロレスが管理するアントニオ猪木こと猪木寛至氏に関する著作権、肖像権、意匠権および商標権の使用許諾契約を締結いたしました。

この度、ジー・コミュニケーショングループ内におきまして、アントニオ猪木ブランドの外食ビジネスの展開は、「とりあえず吾平」の商品開発力・展開力などの実績を考え、ジー・テイストにおいて行うことが最良と判断し、ジー・テイストをFC本部として進めていくことになりました。

その結果、本契約は、ジー・テイストとの契約となりました。また、契約内容としましては、新日本プロレスが管理する“アントニオ猪木”こと猪木寛至氏に関する著作権、肖像権、意匠権および商標権をジー・テイストが独占的に使用し、飲食店を展開するというもので、アントニオ猪木ブランドの外食ビジネスの展開を目的としております。

2. 肖像権等使用許諾契約の概要

- ①契約期間 5年間
- ②使用許諾の対価 100,000千円

- ③使用目的 まず「アントニオ猪木酒場」を展開いたします。
また、ジー・テイストの展開する他の外食店舗におきましても、アントニオ猪木氏の名前・写真・ロゴなどを使用いたします。

3. アントニオ猪木酒場の概要

- ①コンセプト ・ “アントニオ猪木” を前面に、常時プロレス映像が放映される活気ある居酒屋であり、プロレス全盛期に金曜日の夜、テレビの前でわくわくしながらプロレスを見ていた時代に戻ることができる雰囲気作りを行います。
・ プロレス映像を観戦しながら飲食できるアミューズメント的な居酒屋であり、プロレス会場にまで足を運ばないながら、プロレスに興味のあるライトなファンも気軽にプロレスを楽しめる場の提供をコンセプトとしています。

②メニューイメージ

- ・ アントニオ猪木氏およびプロレスラーのイメージから、ボリュームのあるメニュー
- ・ アントニオ猪木ブランドをイメージさせるネーミングのメニュー
例) 「1、2、3、ダァー」「元気ですかー」
 「卍固め」 「延髄切り」「コブラ・ツイスト」
- ・ オリジナルドリンクメニュー

4. 新日本プロレスの概要

- | | |
|-------------------|--|
| (1) 商 号 | 新日本プロレスリング株式会社 http://www.njpw.co.jp/ |
| (2) 代 表 者 | 代表取締役社長 サイモン・ケリー猪木 |
| (3) 本 店 所 在 地 | 東京都世田谷区野毛一丁目3番22号 |
| (4) 本 社 所 在 地 | 東京都目黒区青葉台四丁目4番5号渋谷スリーサムビルディング8階 |
| (5) 設 立 年 月 日 | 昭和47年1月13日 |
| (6) 主 な 事 業 の 内 容 | プロレスリングの興行 |
| (7) 資 本 の 額 | 7,500万円 |

5. ジー・テイストの概要

- | | |
|-------------------|---|
| (1) 商 号 | 株式会社ジー・テイスト http://www.g-taste.co.jp/ |
| (2) 代 表 者 | 代表取締役社長 稲吉史泰 |
| (3) 本 店 所 在 地 | 仙台市若林区大和町5-33-18 |
| (4) 設 立 年 月 日 | 昭和34年11月 |
| (5) 主 な 事 業 の 内 容 | 回転寿司チェーン、居酒屋チェーン、飲食店経営、関連商品の販売 |
| (6) 資 本 の 額 | 8億9,700万円 |

6. 今後の見通し

平成19年1月期の連結業績への影響につきましては、具体的な数値が確定次第お知らせいたします。

以上